

平成28年5月31日 15:20～

平成28年度定時総会 会長挨拶

平成28年度の定時総会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より全建の事業活動に深いご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。また、本日は、何かとお忙しいところを定時総会にご出席をいただきまして、重ねて御礼申し上げます。

まず、先月14日に発生した平成28年熊本地震において、多くの方々が被害に遭われました。ここに衷心よりお悔みとお見舞いを申し上げます。また、懸命な復旧作業に当たっておられます熊本県建設業協会ははじめ各県建設業協会の皆様に対しまして、深く敬意を表するとともに、どうぞ安全第一で作業にあたっていただきますよう、お願いするところでございます。

さて、現在の私ども建設業界は、建設投資の長期減少傾向に一定の歯止めが掛かった一方で、オリンピック・パラリンピックの開催を控え今後も大きな需要が見込まれる東京などと、公共工事量が減少している地方との地域間格差、更には大手と中小の企業間格差が顕在化しており、地域建設業は依然として厳しい状況に置かれております。いうまでもなく、建設業は社会資本整備の担い手であるとともに、自然災害の最前線で活動する安全・安心の守り手であり、各地域において大きな社会的役割を期待される産業でございます。将来にわたってその役割を果たしていくためには、経営基盤を強化し、経営の安定化を図ることが何より重要であり、そのためには、安定的かつ持続的な事業量の確保が第一であると認識しております。

先月、正副会長で自民党本部に伺い、熊本地震における被災者支援と災害復旧・復興に必要な財政措置とともに、公共事業予算の大幅な前倒し執行を踏まえ、秋以降の事業量確保を図るため、平成28年度大型補正予算の早期編成を要望したところでございますが、皆様すでに御承知のとおり、今国会では、熊本地震対応の補正予算が編成されたに止まっております。

私ども全建としましては、我が国経済の景気回復の足どりを確実なものとするためにも、公共事業量を大きく盛り込んだ補正予算の編成を、引き続き、各都道府県建設業協会の皆様と連携し、あらゆる機会をとらえて政府・関係機関に提言・要望を行っていく所存でございます。

担い手確保、生産性の向上等解決すべき課題は山積しておりますが、皆様と一緒にあって、「夢のある建設業の再生」に全力で取り組んで参りますので、本日お集まりの皆様におかれましても、より一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願いすると

ころでございます。

結びにあたり、各都道府県建設業協会並びに会員企業の皆様の今後益々のご発展と、ご参集の皆様のご健勝を心からお祈りいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。